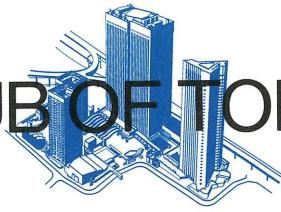




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2001 : CREATE AWARENESS— TAKE ACTION

「ロータリー2001：意識を喚起し—進んで行動を」

2000～2001年度・国際ロータリーテーマ／フランク・J・デブリン会長

「さわやかに全員参加で行動を」

2000～2001年度・東京新南ロータリークラブテーマ／山下忠治会長

本日の例会 2月23日 第690回例会

第3回クラブセミナー

「ロータリー創立記念日にあたって」

第2750地区 パストガバナー

初代会長 ロータリー情報委員 田辺 賢三君

本日のロータリーソング「四つのテスト」「雪の降る町を」

本日の演奏 ピアノ 大澤 美紀さん
ドビッシェ アラベスク 第1番、第2番 他

先週報告 2月16日 第689回例会

夜間例会／レディス・デー



「今宵はあなたと
ソング&トーク」

～2人のタカラジェンヌと共に～

初風 諄さん (元宝塚歌劇団)

笹 潤子さん (元宝塚歌劇団)

◎国際奉仕委員会報告(相澤委員長)

既にご案内の通り、当2750地区は韓国ソウル3650地区よりGSE訪日団(5名)を2/20(火)～3/20(火)までお迎えします。そのホストクラブの昭島・飛火野・目黒・調布・原宿、当クラブが2/14ガバナー事務所に集まりスケジュールを決めました。

当クラブでは、3/12(月)歌舞伎鑑賞(新橋演舞場／午後の部)と、3/13(火)はとバス観光(鎌倉・江ノ島方面)・その夜の「夕食会」を計画しました。会員の皆様のご協力とご参加をお願い申し上げます。

◎SAA報告(清原SAA)

例会場内に行事の掲示板を移動しました。各委員会のお知らせなど、見やすくなりました。有効にご利用下さい。

◎慶事披露 誕生日祝い／斉藤茂之君(2月18日)

お知らせ

・ロータリーレート変更

2/24より1ドル116円に変更(現行 110円)

・国際ロータリー日本サービス・センターの事務所を3/12より移転します。

〒115-0045 北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階

Tel

Fax

奉仕室 03-3903-3161

03-3903-3781

財団室 03-3903-3192

〃

経理室 03-3903-3183

〃

資料室 03-3903-3194

〃

2月23日はロータリー創立96周年記念日・世界理解と平和の日
世界理解と平和週間(2/23～3/1)

◎出席報告 会員66名／出席41名／欠席25名(出席規定免除者6名)

ゲスト1名・ご家族14名(敬称略)

石井喜子／千賀子、石束陽子、岩上曜子、岩瀬和子、梶内美智子、小杉克子、関 道子、庄司佐代子／有里、土屋淑子、山川佐智子、吉田克枝、山下幸治



2月16日／19件64,000円

2000～2001年度累計1,384,000円

多額の御寄付を有難うございました。

東京日本橋西RC会長・齋藤直成／千代田グループIMの分科会を担当するに当たり、馬場ガバナー補佐、関グループ幹事、山下会長、梶内幹事の皆様に暖かい御高配と御指導を頂き、かつパネリストとして大日方様の御出場を頂き誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。由井敏参(2/9卓話者)／卓話のお車代を全額ニコニコに頂きました。圓谷正和／1/25に網膜剥離の手術を受け、12日間入院してきました。皆様には大変御心配をお掛けしました。一命ならぬ、一目(いちめ)を取り止めた思いです。梶内滋男／IMご協力ありがとうございました。ホットしています。小杉修造／夜間例会、プログラムを担当させて頂いて。山下忠治／会員のご家族の皆様、ようこそ、お出かけ下さいました。今夜のシャンソンとトーク・ショウを一緒に楽しみましょう。以下紙面の都合によりお名前のみ掲載させていただきました。加藤昌明・土屋東一・岩瀬秀郎・岩上義明・石井謙次・川鍋二郎・大日方真・福島賢哉・庄司泰典・馬場一廣・市川徹・河原勢自・柴本芳郎

次週予告 3月2日 第691回例会
卓話予定

「ロータリークラブとISO 14001」

名古屋中ロータリークラブ会員 河尻 邦博 氏
美和医療電機株式会社 代表取締役社長

《参加クラブ》5クラブ

東京芝RC・東京築地RC・東京新南RC・

東京日本橋西RC・東京シティ日本橋RC

平成13年2月13日(火) 13:30～16:40 於 学士会館

来賓／川尻ガバナー、馬場ガバナー補佐、

松本地区副幹事、関グループ幹事



A分科会 「ロータリーの夢を語ろう」

担当／日本橋西RC

上記テーマについて、参加5クラブより意見を出しあった。最初に当クラブよりパネラーとして参加の大日方会員より、ロータリーの根幹である親睦と奉仕の中で、親睦について話をされた。最近の社会状況を見ても、ロータリアンが1人1人がロータリーの心を伝えて行くことが、社会を良くしていくことになる。そのためにも、親睦は重要であり、その心を更に職場内や外へ広げ、伝えていくようにしなければと考えている。又、他クラブパネラーより、ポリオプラスにつぐプログラムを日本から出しては、青少年への教育プログラム(課外授業への教師派遣等)、ロータリーの組織と運営が複雑になりすぎていないか…原点を見つめなおそう。等々これからのロータリーについて大変貴重な意見が出されました。

[高須 記]

B分科会 「人道的援助をより推進するためには」

担当／(主)築地RC。(副)芝RC

上記のテーマで各5クラブの国際奉仕関連にたずさわった会員が集まり協議した。

八王子西RCの河西成幸会員がケーススタディとして報告があった。台中RCと共にいったモンゴル国、ウランバートルの学校へ教育機材を贈った経緯を、立ち上げから終了までを詳細な説明をまじえて語ってくれた。

モンゴルは月収入の平均が30～60ドルという国なので、国情を良く理解しないとむずかしい、などの話を聞く。その後ビデオに撮影された贈呈式を見る。学校での国際親善豊かなパーティー(八王子西RC・台中RCのメンバーが参加)が映し出された。それは人道的援助を推進したモデルケースといえる。

その後、小山田地区R財団補助金委員長の話。

国際奉仕を推進することは世界の平和に寄与することだ。社会援助プログラム(CAP)が出来、これに対する補助金も出るようになった。同額補助金プロジェクトは世界で17,000件も実行されている。このプログラムは単年度では終わらない。事業が完了するまで委員会は固定しておく必要がある。なぜなら、プログラムの企画から完了まで3～4年かかる。そして、この援助は顔の見えるものでなければならない。

[小杉(修) 記]

C分科会 「青少年交換をより良く軌道に乗せるためには」

(課題と打開策)

担当／(主)シティ日本橋RC。(副)新南RC

新南RCが直近の青少年交換学生受入(マディノオースト

リア)をしたので、ホストファミリー(6家族)の設定、学校関係、ルール作り等、問題提起の形で、小杉(眞)、吉岡、石坂各会員から発言をした。各クラブから経験に基づく活発な意見が出され、本音の生の声も聞けた。

意見を総合すると、青少年交換プログラムは、意義ある重要なプロジェクトで総論賛成である。しかし、現状の受入ホストファミリーを初めとする関係者の苦労を考えると各論には様々な問題がある。今後どの様に打開していくか、下記の何点かを前向きに検討して地区共々進め様と纏めた。

- (1) 受入学生の目的意識を確り自覚させ、方向性を打ち出す。
- (2) 客人扱いをしない。厳しい躰けもする。
- (3) 統一したルール(ガイダンス)を守らせる。
- (4) 交遊関係(学友)を作らせる。
- (5) 日本の文化、社会の仕組み、歴史等を勉強させる。
- (6) 日本からの派遣学生の家庭は無条件で受け入れに協力させる。
- (7) HOST-MOHERの負荷軽減を検討する。

等々、当クラブでも次回受入の為、良く検討しておく必要があると痛感した。

[小杉(眞) 記]

IM まとめ

2/13(火) 千代田グループ・Cグループ(新南・芝・築地・日本橋西・シティ日本橋以上5クラブ)のIMが開催された。

Cグループでは、昨年度からホストクラブを設けず、5クラブ共催とし、各クラブが担当した役割を責任をもって執行することになった。今年度当クラブの担当は、①打合せ等各クラブ間の連絡。②招待者の案内・受付。③懇親会④分科会C「青少年交換」のサブであった。

三テーマに分かれて分科会が行われ、1時間20分に亘り熱心な討議がされた。分科会報告に続く講評では、馬場一廣ガバナー補佐は、テーマは異なっているも語られているものはロータリーの心であり、胸を打つような一刻を過したと語られ、参加者一同のロータリーに対する熱い想いを評価された。続いて、御多用中にも拘わらずご出席いただいた川尻ガバナーが立たれ、ご挨拶も頂くとともに各テーマについての地区の対応等について述べられた。

懇親会は当クラブ新保親睦活動委員長の司会で始まり、開会の辞・乾杯の音頭を松本公成地区副幹事をお願いし、閉会の挨拶は関征春グループ幹事が担当された。

ビールとサンドイッチ・乾き物だけの簡素な懇親会であったが、参加者全員和気藹々と懇談の輪が広がり、クラブ間の交流も深まった。

[梶内 記]

出席者(順不同・敬称略) 大日方、山下、横山、清原、立林、高須、吉田(用)<以上A分科会>、相澤、小杉(修)、島田、加藤、新保、入沢<以上B分科会>、吉岡、梶内、小杉(眞)、石坂<以上C分科会>

火曜会報告

火曜会が2月6日、16名の参加者を得て行われ、入沢、青野両会員より「この頃思う事」と言う内容でお話をして頂いた。入沢会員からは、今年は我が身を大切にすることと人の身になって物事を考える事の2つを考慮しながら生きたい。段々、日本的な考え方が薄れて欧米流になってきている事を恐れる。RCについては、その目的と手段と本当に目指している物が何なのか、今1つ分からないとのお話があった。青野会員からは世の中嫌な事件が多い。自己愛がなく損得で物事を考える風潮による世の中の変転を恐れる。礼節、勇氣、思いやりと品格が今こそ必要であるとの素晴らしいお話を頂き、その後2次会の席も大いに盛り上がった。

(石井記)

出席者(順不同・敬称略): 荻野、梶内、吉田(用)、入沢、河原、横山、吉岡、武下、高須、岩上、青野、大日方、加藤、新保、庄司、石井

東京新南ロータリークラブ

会長: 山下忠治 副会長: 加藤昌明 幹事: 梶内滋男

事務局: 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日: 毎週金曜日 12時30分

例会場: 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員> 下線は、今週の担当

青野 信次、福島 賢哉、石川 泰啓
清原 元輔、本嶋 公民、村山 公士
庄司 泰典、高須 康有、土屋 東一
圓谷 正和、山川 政樹